

平成27年5月発行

第40号

みみよう



表紙写真： 小屋浦みみよう保育園

今号の内容

理事長 巻頭文	1
施設紹介・新任紹介	2
保護者アンケート	3
新採用職員紹介	4
就任あいさつ・ご意見ご要望のしくみ	5

学校法人 微妙学園

みみよう幼稚園 〒732-0814 広島市南区段原南一丁目5-3

社会福祉法人 微妙福祉会

- みみよう保育園 〒734-0023 広島市南区東雲本町二丁目10-9
- 第二みみよう保育園 〒734-0023 広島市南区東雲本町二丁目12-20
- 段原みみよう保育園 〒732-0814 広島市南区段原南一丁目5-3
- くまの・みらい保育園 〒731-4224 安芸郡熊野町神田15-1
- 日出みみよう保育園 〒732-0818 広島市南区段原日出一丁目14-16
- 坂みみよう保育園 〒731-4314 安芸郡坂町坂西二丁目2-12
- 小屋浦みみよう保育園 〒731-4331 安芸郡坂町小屋浦38-27

学校法人翠光学園

すいこう認定こども園 〒739-1754 広島市安佐北区口田5丁目17-19



平成27年度運営方針5つの鍵

職員の皆様や地域の方々に、「みみょうグループ」の運営方針や実績をお伝えすることを目的に、平成15年4月に広報紙「みみょう」1号を発行して、今回で40号を迎えることになりました。1号を発行したときの園数は幼保合わせて4園でしたから、この12年間で5ヵ園増えたこととなります。これからも地域の教育、福祉、子育ての拠点施設であり続けてゆきたいと思っています。皆さまのご理解ご協力を切にお願い申し上げます。さて、平成27年度グループの運営には5つの大きな検討課題があると思っています。

最初の課題 本年4月から始まった「認定子ども園制度」です。私どもグループでは、翠光認定子ども園が「すいこう認定こども園」と園名を変更して、新制度による幼保連携型認定子ども園に移行するだけで、その他は、「みみょう幼稚園」は幼稚園のままであり、その他の保育園は全て保育所のままです。

しかし、新制度に関しては国の政策の流れや地域性(坂町のようにI号認定児の需要が高いところ)もあり、移行の時期、様式(幼保連携型や保育所型などの)について検討することとなります。ただし、保育所と保育所型認定子ども園は制度的に近いのであわてて決めることはないものと思っています。

2番目の課題 今年の4月から私どものグループに加わった「坂みみょう保育園」と「小屋浦みみょう保育園」の運営問題があります。両方とも園長以下多くの職員が残ってくださり、坂は園舎も大規模改修によりリニューアルしたこともあり、まだ始まったばかりですが順調に推移していると思われます。しかし、民営化したことによる事務量増加をどのように処理するのか、本部の機能も含めて考える必要がありますし、「小屋浦みみょう保育園」は園児数50名未満の小規模園ですが、地域の活

性化と園児数増加のためにも多くの未就園児に来てもらえるようにしなければなりません。設備を整えるとともに職員の皆様に「お.も.て.な.し」の気持ちを持って頂くことが今後の課題になるかと思っています。

3番目の課題 社会福祉法人制度に関する厳しい見方を幾度かお伝えしてきましたが、このたび社会福祉法等の一部改正案が国会審議にかけられることになりました。内容について詳細に書く紙面はありませんが、社会福祉法人の福祉機能をより高いものにするため経営の合理化を進めた上で、地域の福祉ニーズ(弱者救済等)に対応した社会公益事業が義務づけられます。また、一部の理事の独走を防ぐため、一定規模以上の法人には評議員会を必置義務にして、評議員に理事・監事等の任免権を与えるなどが盛り込まれています。更に、理事や評議員、監事にも、何か法人に不祥事が起きたときは、その責任が問われることとなります。これからの社会福祉法人は、誰からも後ろ指を指されないような公正、公平な運営と、それを具体化し外部に公表する高度な運営能力が求められているものと思われます。

現在本部機能向上に努めているところですが、この法改正が施行されるのは2年先とされており、あまり時間がありません。しっかりした運営ができなければ、理事・評議員のなり手もなくなります。本気で取り組む必要があると思っています。

4番目の課題 給与体系が異なる学校法人微妙学園を除く各園の、職員給与の在り方の検討が急がれます。

昨年8月発行の園内報38号でお知らせしましたが、昨年6月より給与制度を一部改め、昇給・昇格に勤続年数や勤務成績による個人差をつけることにしました。しかし、園長・主任も含めた給与表の見直しや定年制の在り方など関連する問題が、認定こども園問題や坂・小屋浦保育園

の移管等に気を取られ、十分に検討できていませんでした。さらに、平成27年4月分の給与計算をする段階で、人事考課による評価を給与に反映させる作業に入ったところ、前年昇給した人が次の年も頑張ると、特定の人だけが毎年連続昇給することになるので、誰もが競い合って努力してほしいという当初の目的が達成されていないこととなります。

給与制度は職員の生活に関わる問題であり、経営面にも大きく影響しますので慎重であらねばなりませんので、急いで手直しをしているところです。

5月の理事会までには何らかの結論をとっているところです。

5番目の課題 長らく園児の多い「第二みみょう保育園」園長は理事長が兼務してきましたが、園数が増えたことと、グループが3法人にまたがるところから、本年3月開催の理事会において、理事長は理事長職だけに専念し、副園長は退職することになりました。後任の「第二みみょう保育園」園長には「みみょう保育園」園長が就任し、「みみょう保育園」園長には同園主任兼園長補佐が就任しました。「第二みみょう保育園」はグループ保育園の中核であり、「みみょう保育園」はグループ保育園の発祥の園として、昭和55年度より乳児保育の専門園となりました。

仏教園らしくありませんが、新約聖書に「新しい酒は新しい革袋に」という言葉があります。新しい考えや内容は、新しい形式で表現することが大切だということですが、新しい指導者のもとに、子どもたちや、保護者、そして、地域の人にも「今までより良くなった」と言われるようになってほしいと思っています。また、園長諸氏が一人でも多くの後継者、次世代リーダーを育ててくれることを願っているところです。

理事長

新施設紹介

坂みみょう
小屋浦みみょう
保育園が開園しました!

3月21日に新しい坂みみょう保育園の園舎で、引き継ぎ式が執り行われました。坂地区、小屋浦地区、横浜地区の代表の皆さま大勢で、門出を祝っていただきました。



～違いを楽しむ保育の創造に向けて～

坂町からの民間移管を受け、改修工事を終えた園舎はイエロー、オレンジ、グリーンの色を基本カラーに、2階建てではありますが、バリアフリーの象徴であるエレベーター棟を完備し、平成27年4月1日、『社会福祉法人微妙福祉会・坂みみょう保育園』として155名の乳幼児を受け入れ開園しました。

職員は新規採用が2名、各微妙福祉会内での異動で5名、旧坂保育所から18名、合計25名です。様々な環境の中、様々な保育を創造しているはずですので、この一年間はどうしてもその違いが先行し戸惑うことが多いかとは思っています。

一人ひとりを大切にする保育の基本は、同じ考えになることが目標ではなく違いをそれぞれが認識し、多角的に物事をとらえることの大切さと素晴らしさを職員それぞれが認識することが必要です。「どう思う?」から「どうすればいいと思う?」の対話を大切に、新しい『坂みみょう保育園』を職員とともに構築していきたいと願っています。

昨年度は、引き継ぎ保育や会議の中で松尾理事長をはじめとして本部の先生方から温かく丁寧なご指導をいただき力強く感じておりました。微妙福祉会の深く長い歴史のある保育理念の下、子ども達や保護者、地域や学校から信頼される保育園経営を目指していきたいので、今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

坂みみょう保育園 園長



～小屋浦みみょう保育園開園～

平成27年4月1日、いよいよ微妙福祉会への仲間入りをし、「小屋浦みみょう保育園」が開園いたしました。開園に至るまで、グループ園の先生方に「いつでもどうぞ」と快く受け入れていただき、ご指導いただきましたことに感謝申し上げます。

また、微妙福祉会の研修会では、日々の保育実践を見つめ、後輩の育成、そして職員同士相互に育ち合う法人の研修体制に多くのことを学ばせていただいたところです。

さて、小屋浦は坂町の中でも呉市に隣接し、山や川、海に囲まれ自然を身近に感じるのどかな地域です。また、島影に沈む夕日も美しい所です。

小屋浦みみょう保育園は定員40名と小規模ではありますが、園に来る子どもたちはひとつの家族、大人数のきょうだいのように日々を過ごしております。皆の職員が子どもたちみんなに関わり、一人ひとりを大切にしながら育ちを支えていきたいと思っております。皆様からご指導をいただきますよう職員一同よろしくお願いいたします。

小屋浦みみょう保育園 園長



子ども・子育て支援新制度を受けて “すいこう認定子ども園” に名称が変わりました

当園では、この4月から「子ども・子育て支援新制度」に基づく幼稚園と保育園の両方の機能を持った「新幼保連携型認定こども園」になりました。これまで幼児部では、幼稚園部と保育園部で一緒に行事を行い、できる場所は一緒に保育を計画してすすめてきましたが、今年度からは、1号（幼稚園部）2号（保育園部幼児）と分けるのではなく、職員全員で同じ目線で保育したいという思いから、当番制で1号と2号の子どもたちの受け入れからお迎えまでの保育を一緒に行うことにしました。まだ始まったばかりで上手いかないこともありますが、職員間で声をかけ合い、より良い方法を模索しながら、子どもたちが安心して園生活を楽しめるようにしていきたいと思っています。また、0歳から就学までの子どもたち一人ひとりが、自分の好きなあそびを選択して遊べる環境を整え、集中してじっくり楽しむ個人を大切に「保育」と、幼児からは集団で課題を持った活動を行う「教育」を、それぞれ年齢に合わせたカリキュラムの下充実させ、子どもたちが退屈しないメリハリのある楽しい保育をめざしていきたいと思っています。

園長

保護者アンケート

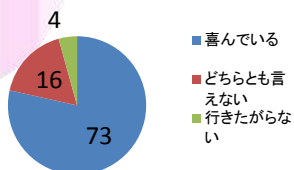
第二みみょう保育園

みみょうでは、保護者の皆様に質の高い保育を提供するため、毎年アンケートを実施しています。

(H27.3実施)

《数値は人数》

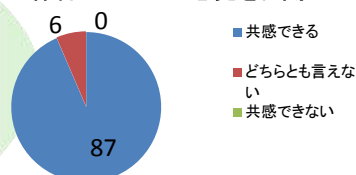
1. お子さんは喜んで登園していますか



3. みみょう保育園は、「あそびを通した保育」を展開していますか。

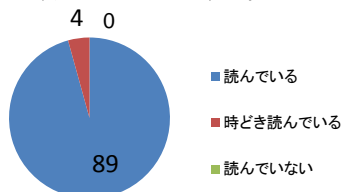
子どもたちは、たくさんの友だちと一緒に遊びながら、考えたり、工夫したり、協力することを身につけ、保育理念である「何事にも自ら進んで行動する意欲的な子ども」に育っていきと思っています。

あそびを通した保育についてご意見をお聞かせください。

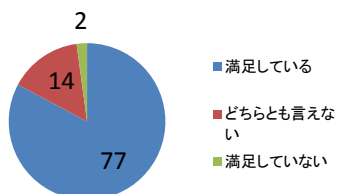


5. みみょう保育園の子どもたちの様子や、今、保護者の皆さんと考えたいことなど「園だより」「クラスだより」などを通してお伝えしています。

I. 毎月読んで頂けているでしょうか。

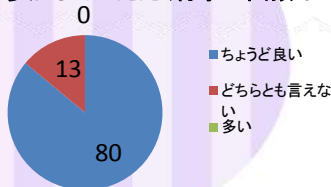


6. 怪我の対応について



8. みみょう保育園では、保育参観・行事(運動会・作品展、バザーなど)保護者が保育に参加する機会を通して、子育てを楽しんでいただきたいと思います。

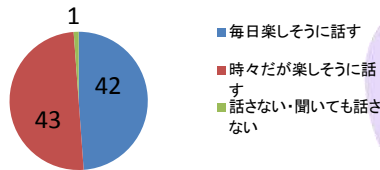
I. 保護者に参加していただく行事の回数はいかがですか



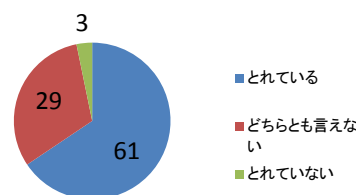
怪我の対応についての方針

『子どもたちのやる気を十分に満たしながら、なるべくけがのないよう見守っていますが、時には怪我をすることがあります。医師の治療を受けることもあります。縫合やレントゲンを使用するような場合をのぞき、保護者のお仕事が中断しなくてもいいように報告はお迎えのときに行っています。(どんな小さな怪我でもすぐ知らせてほしいという方は担任までお知らせください)』という考えのもとに保育を行っています。

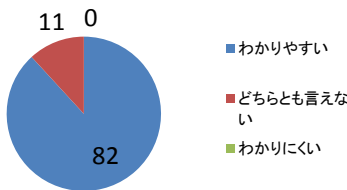
2. お子さんは、園での様子や担任のことを保護者に話していますか。(2歳以上)



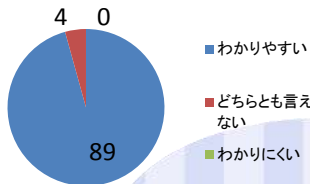
4. 日頃から保護者と保育士が十分コミュニケーションをとるよう心がけていますが、送迎の際など保育士と話をしたり、お便り帳などを通してコミュニケーションはとれていますか?



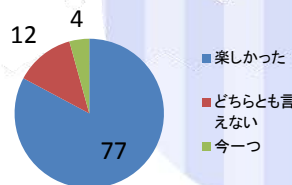
II. 内容は、分かりやすく書かれていますか。



7. みみょう保育園は、食育にも意欲的に取り組んでいますが、給食について、「給食だより」「献立表」など分かりやすくなっていますか



II. 今まで参加された行事の内容はいかがでしたか



今回のアンケートでは、どの項目も満足度が高い結果になりました。しかし、“より質の高い保育になるよう何かご意見があればご記入ください”という項目では、

- ・ 行事の予定や準備物など早く知らせてほしい
 - ・ 挨拶をしない職員がいる、職員の言動、態度が悪いときがある
 - ・ 園児数が多く目が行き届いているか心配 等
- あげられていました。

真摯に受け止め、具体的に改善できる点は改善し、職員研修などで保育内容、モラルの向上に努めてまいりたいと思います。

平成27年度 新採用職員紹介

第二みみょう保育園

みみょう保育園



こんな保育士になりたい!

元気いっぱいいつでも
笑顔の保育士



こんな保育士になりたい!

子どもの良い所をたく
さん見つけられる保育士



こんな保育士になりたい!

元気で小さな事にも「あり
がとう」と言える保育士



こんな保育士になりたい!

優しく芯のある保育士

段原みみょう保育園



こんな保育士になりたい!

子どもの良い所を伸
ばしていける保育士



こんな保育士になりたい!

自分らしく明るく元気
いっぱいの保育士



こんな保育士になりたい!

色々な事を一緒に共感
できる保育士

今年度は、15名の皆
さんにおいでいただく
ことになりました。
フレッシュな若い力
でグループを盛り上げ
てほしいと思っています。
皆様 どうぞよろし
くお願いいたします。

くまの・みらい保育園

すいこう認定こども園



こんな保育士になりたい!

子どもと一緒に成長して
いける保育士



こんな保育士になりたい!

笑顔で子どもに大好きと
思われるような保育士



こんな保育士になりたい!

子どもたち一人ひとりを
大切にできる保育士



こんな保育士になりたい!

子どもの気持ちになって
物事を考える保育士

日出みみょう保育園

坂みみょう保育園



こんな保育士になりたい!

子どもの目線に立てる
笑顔で明るい保育士



こんな保育士になりたい!

笑顔で毎日子どもたちと
楽しめる保育士



こんな保育士になりたい!

子どもの気持ちに寄り添
うことのできる保育士



こんな保育士になりたい!

子どもたちの気持ちを分
かり共感できる保育士

就任の挨拶

第二みみょう保育園園長

このたび、みみょう保育園の園長から第二みみょう保育園の園長に就任いたしました。
 近年は、園長業務の傍ら「第二みみょう保育園」の建替工事。翠光幼稚園の運営移管を受託し増築工事をするとともに「すいこう認定こども園」への移行。日出みみょう保育園の新築工事。坂みみょう保育園の運営移管を受託するとともに増築・改修工事。小屋浦みみょう保育園の運営移管受託などに従事しましたが、先人の培ってきた歴史や信用という大きな財産と人財（材）に恵まれたことに心から感謝しております。

第二みみょう保育園は、分園を含め定員396名というマンモス園です。職員も80名余います。みみょうの保育理念である「個を大切に保育」を心がけ、子どもたちにとって、保護者にとって、職員にとって、楽しい園となるよう、専心園の発展に努力してまいりたいと思います。この大役の重みに身の引き締まる思いをしておりますが、同時に、子どもたちから多くのことを学ぶことにワクワクしております。引き続き、ご理解ご協力をお願いいたします。

就任の挨拶

みみょう保育園園長

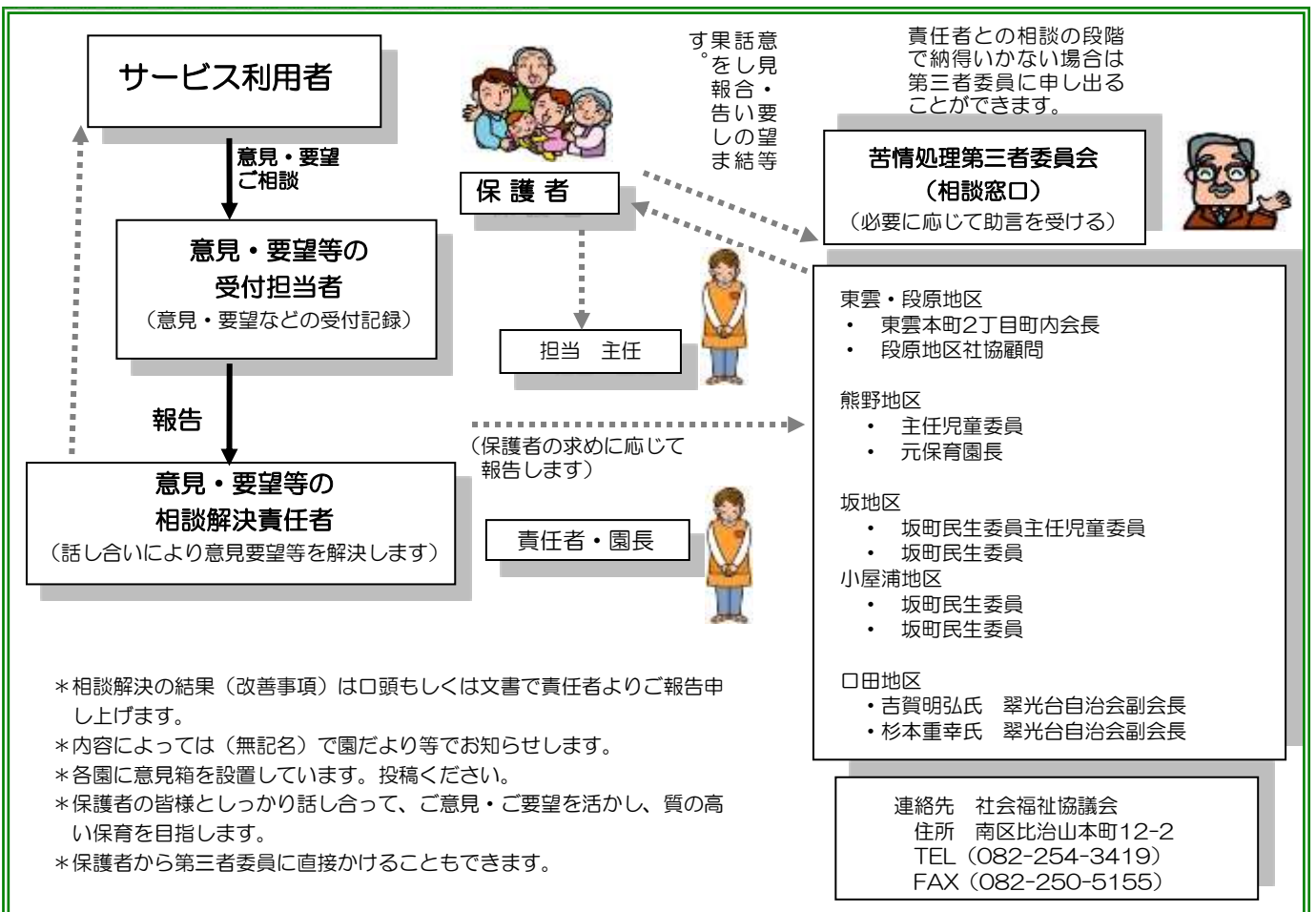
このたび、園長の役をおおせつかりました。

昭和58年4月にお世話になって以来、多くのことをみみょうで学ばせていただいています。みみょうグループの中でも一番最初に開設され、今年67年目になる当園の歴史と、大役の重みに身の引きしめる思いでいっぱいですが、これからは新たな気持ちで、皆様のお力をお借りしながら、子どもたちのために、乳児期の発達を丁寧に見つめ、その時期に育てたいことを逃さないように支援していきたいと思っています。そして、一人ひとりにたくさんの愛情を注ぎ、「自分は愛されているんだ」「生まれてきてよかった」という自己肯定感とともに、人が大好きな子どもになるよう育んでいきたいと思っています。また、小さい施設ではありますが、職員一同、アットホームで温かい保育、保護者の皆様の子育て応援施設として、また地域に開かれた園として地域の子育ても応援していけたらと思っています。

みなさま どうぞよろしくお願いいたします。

みみょうグループ

ご意見・ご要望の解決のための仕組み



編
後
集
記

子ども・子育て支援新制度もスタートし、保育の世界も多様化の時代を迎えました。当グループも翠光学園が新制度にのった認定子ども園に変わったり、坂・小屋浦地区の保育園が新たにみみょうグループの仲間入りをするなど、これまで以上に幅広い運営を求められます。しかし、子ども目線で保育をし、子どもの主体性を伸ばしていく保育は変わりません。今年度も楽しい保育をしてまいりましょう！ 編集部